



平成 20 年 9 月期 中間決算短信 (非連結)

平成 20 年 5 月 22 日

上場会社名 ホウライ株式会社 上場取引所 JQ  
 コード番号 9 6 7 9 URL <http://www.horai-kk.co.jp>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中尾 秀光  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役兼執行役員 経理部長 (氏名) 千葉 正裕 TEL (03)3546-2921  
 半期報告書提出予定日 平成 20 年 6 月 26 日

(百万円未満切捨て)

1. 20 年 3 月中間期の業績(平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(1)経営成績 (%表示は対前年中間期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		中間(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 3 月中間期	2,534	△1.1	109	△43.5	238	6.6	180	△3.3
19 年 3 月中間期	2,562	△1.0	194	29.5	224	△42.3	186	—
19 年 9 月期	5,772	△3.5	683	△0.9	908	△7.8	606	—

	1株当たり中間(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20 年 3 月中間期	12	89	—	—
19 年 3 月中間期	13	33	—	—
19 年 9 月期	43	33	—	—

(参考) 持分法投資損益 20 年 3 月中間期 — 百万円 19 年 3 月中間期 — 百万円 19 年 9 月期 — 百万円

(2)財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20 年 3 月中間期	25,315	5,630	22.2	402 25
19 年 3 月中間期	26,397	5,163	19.6	368 71
19 年 9 月期	26,094	5,580	21.4	398 57

(参考) 自己資本 20 年 3 月中間期 5,630 百万円 19 年 3 月中間期 5,163 百万円 19 年 9 月期 5,580 百万円

(3)キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20 年 3 月中間期	122	△105	△513	2,685
19 年 3 月中間期	551	△111	△143	3,716
19 年 9 月期	1,310	△682	△864	3,181

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
19 年 9 月期	—	5 00	5 00
20 年 9 月期(実績)	—	—	—
20 年 9 月期(予想)	—	5 00	5 00

3. 20 年 9 月期の業績予想(平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,030	4.5	790	15.5	1,010	11.1	660	8.8	47 14

4. その他

(1)中間財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの）

- ①会計基準等の改正に伴う変更 有・無  
②①以外の変更 有・無

(2)発行済株式数（普通株式）

①期末発行済株式数（自己株式を含む）

20年3月中間期 14,040,000株 19年3月中間期 14,040,000株 19年9月期 14,040,000株

②期末自己株式数

20年3月中間期 42,427株 19年3月中間期 34,659株 19年9月期 38,847株

(注) 1株当たり中間(当期)純利益の算定の基礎となる株式数については、19ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3 ページ「1.経営成績 (1)経営成績に関する分析」をご覧ください。

## 1. 経営成績

### （1）経営成績に関する分析

#### ①当中間期の業績

当中間期のわが国経済は、米国サブプライムローン問題を主因とした金融・資本市場の混乱、円高と原油・諸原材料価格の上昇が、好調を続けてきた企業業績に影を落とすとともに、生活必需品の値上がり等により個人消費も停滞色を強めました。

このような厳しい環境下、天候不順等の要因も加わり、当社の中間期業績は全体として計画を下回りました。

営業収益は2,534百万円（前中間期比28百万円減）で、ゴルフ・保険事業は前年を上回る営業収益を上げた一方、暖冬による紅葉の遅れや強風・大雨等の異常気象が影響して観光事業の営業収益が大きく落ち込み、乳業事業も観光売店での乳製品売上減少が大きく、また不動産事業は賃貸料の一部改定により、それぞれ前年を下回る結果となりました。

営業原価につきましては、賃貸ビルの改修工事費用と、乳業事業の飼料等仕入コスト増等により、全体では2,170百万円（前中間期比48百万円増）となりました。一般管理費は、人件費増から254百万円（前中間期比8百万円増）となりました。

この結果、営業利益は計画を下回り109百万円（前中間期比84百万円減）となりました。経常利益はゴルフ会員権のマーケットからの買取り消却の効果があり、238百万円（前中間期比14百万円増）となりました。

最終的な中間純利益は、税金支出の増加から180百万円（前中間期比6百万円減）となりました。

#### ②通期の業績見通し

当社の千本松地区事業は季節的要因により下期の営業の比重が大きく、下期の業績につきましては不確定要素はあるものの、観光事業での新規アトラクションの導入等、諸施策の効果により好調が見込まれます。

したがって通期の業績見通しにつきましては、平成19年11月22日付「平成19年9月期 決算短信（非連結）」でお知らせしましたとおり営業収益6,030百万円、営業利益790百万円、経常利益1,010百万円、当期純利益660百万円を見込んでおります。

### （2）財政状態に関する分析

#### ①当中間期のキャッシュ・フローの状況

「営業活動によるキャッシュ・フロー」で得た資金は122百万円（前中間期比429百万円減）となりました。営業利益の減少と法人税等の支払額増加に加え、前年は平成18年9月期の碎石事業撤退に伴う売上債権の回収があったため、前中間期との比較では減少幅が拡大しました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」で使用した資金は、賃貸ビルの改修工事等により、105百万円（前中間期比5百万円減）となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」で使用した資金は、入会預り保証金の返還、配当支払及び社債償還等により、513百万円（前中間期比370百万円増）となりました。

以上により、「現金及び現金同等物」は期首から496百万円減少し、その当中間期末残高は2,685百万円となりました。

②キャッシュ・フロー指標等のトレンド

	平成18年 9月期	平成19年 9月期	平成19年 3月中間期	平成20年 3月中間期
自己資本比率	18.8%	21.4%	19.6%	22.2%
時価ベースの自己資本比率	18.7%	19.1%	20.2%	15.0%
債務償還年数	1.8年	1.6年	2.0年	8.6年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	42.2倍	45.5倍	38.0倍	8.7倍

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

営業キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いは、キャッシュ・フロー計算書の利息支払額を使用しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は事業活動から得られる成果を、株主の皆様へ安定的に還元(配当)するとともに、将来の適切な投資活動に備えた資本の充実と企業価値の向上のため、内部留保にも心がけることを基本方針としております。

平成19年9月期は5期ぶりに復配を果たし、1株当たり5円の配当を実施致しましたが、当期も同じく1株当たり5円の配当を期末に予想しております。

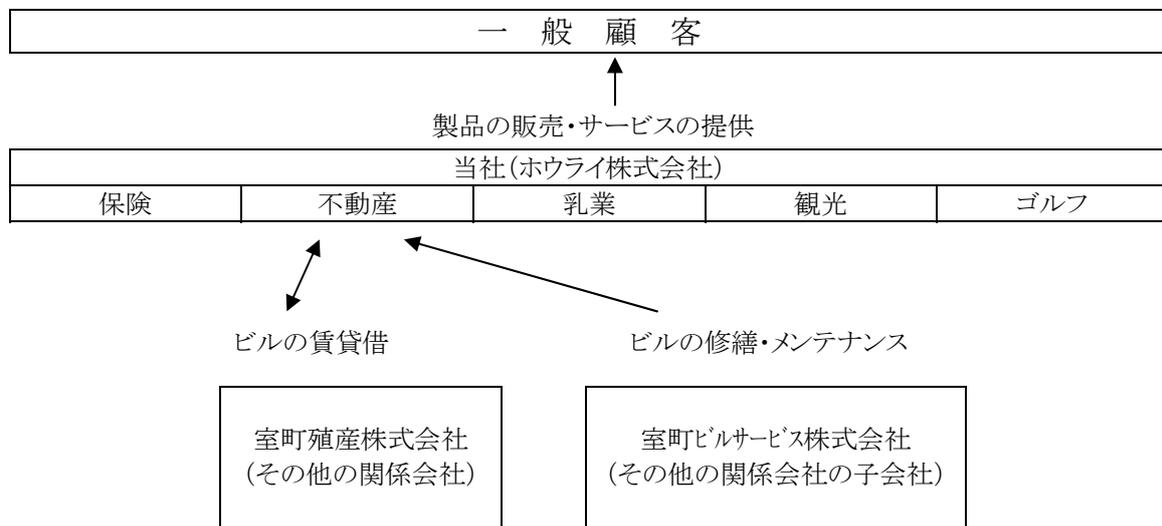
## 2. 企業集団の状況

当社は、保険代理店業務、賃貸ビルの運営、乳製品の製造販売、食堂・レストラン経営および土産品の販売、ゴルフ場の運営など5つの事業活動を展開しております。また、その他の関係会社である室町殖産株式会社は不動産賃貸業を行っており、その他の関係会社の子会社である室町ビルサービス株式会社はビルの修繕・メンテナンス業を行っております。

当社企業集団の事業部門別の活動状況は次のとおりであります。

- ①保 険 事 業      当社の保険事業本部が自動車保険、火災保険等の損害保険代理店業務、終身・定期およびがん保険を主とする生命保険募集業務を行っております。
- ②不 動 産 事 業      当社の不動産事業本部が当社所有ビルを中心とした不動産賃貸業を行っております。当社は所有している4つのビルを室町殖産株式会社に一括賃貸しております。一方、同社から新宿ハウライビルを一括賃借しております。また、室町ビルサービス株式会社は、当社所有ビルの修繕・メンテナンスを行っております。
- ③乳 業 事 業      当社の乳業事業本部が原乳の生産から乳製品の製造まで一貫生産し、一般顧客向けに販売すると共に当社の観光事業本部およびゴルフ事業本部に対して乳製品を供給しております。
- ④観 光 事 業      当社の観光事業本部が売店における乳製品・土産品類等の販売およびレストラン・レジャー施設等の運営を行っております。
- ⑤ゴ ル フ 事 業      当社のゴルフ事業本部がハウライカントリー倶楽部および西那須野カントリー倶楽部の運営を行っております。

以上を事業系統図として示すと次のとおりであります。



### 3. 経営方針

- (1) 会社の経営の基本方針
- (2) 目標とする経営指標
- (3) 中長期的な会社の経営戦略
- (4) 会社の対処すべき課題

以上の項目につきましては、平成 19 年 9 月期決算短信（平成 19 年 11 月 22 日開示）により開示を行った内容から重要な変更がないため開示を省略します。

当該決算短信は、以下の URL からご覧いただくことができます。  
（当社ホームページ）

<http://www.horai-kk.co.jp/>

（ジャスダック証券取引所ホームページ（「JDS」検索ページ））

<http://jds.jasdaq.co.jp/tekiji/>

4. 中間財務諸表等

(1) 中間貸借対照表

区 分	前中間会計期間末 (平成19年3月31日)		当中間会計期間末 (平成20年3月31日)		対前中間期比	前事業年度の 要約貸借対照表 (平成19年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	増減 (千円)	金額 (千円)	構成比 (%)
(資産の部)							
I 流動資産							
1 現金及び預金	4,015,495		3,440,186			3,962,840	
2 受取手形	3,508		—			—	
3 売掛金	266,096		307,297			312,446	
4 たな卸資産	160,703		172,161			168,914	
5 その他	142,648		94,861			105,733	
貸倒引当金	△ 501		△ 200			△ 367	
流動資産合計	4,587,951	17.4	4,014,306	15.9	△ 573,644	4,549,567	17.4
II 固定資産							
1 有形固定資産							
(1) 建物	4,491,162		4,301,302			4,380,966	
(2) 構築物	468,260		446,407			455,603	
(3) 土地	7,056,555		7,056,555			7,056,555	
(4) コース勘定	4,834,505		4,834,505			4,834,505	
(5) その他	876,965		845,889			834,727	
有形固定資産合計	17,727,448	67.2	17,484,660	69.0	△ 242,788	17,562,358	67.3
2 無形固定資産	493,294	1.9	377,688	1.5	△ 115,605	430,174	1.7
3 投資その他の資産							
(1) 投資有価証券	965,094		840,976			937,909	
(2) 保険積立金	2,485,098		2,468,907			2,485,098	
(3) その他	153,967		152,395			151,928	
貸倒引当金	△ 23,730		△ 23,000			△ 23,000	
投資その他の資産合計	3,580,429	13.5	3,439,280	13.6	△ 141,149	3,551,936	13.6
固定資産合計	21,801,172	82.6	21,301,629	84.1	△ 499,543	21,544,469	82.6
III 繰延資産							
社債発行費	8,436		—		△ 8,436	—	
繰延資産合計	8,436	0.0	—	—	△ 8,436	—	—
資産合計	26,397,560	100.0	25,315,936	100.0	△ 1,081,624	26,094,036	100.0

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

区 分	前中間会計期間末 (平成19年3月31日)		当中間会計期間末 (平成20年3月31日)		対前中間期比	前事業年度の 要約貸借対照表 (平成19年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	増減 (千円)	金額 (千円)	構成比 (%)
(負債の部)							
I 流動負債							
1 買 掛 金	67,504		79,075			80,265	
2 一年内償還予定社債	100,000		100,000			100,000	
3 未 払 法 人 税 等	14,509		56,978			202,918	
4 賞 与 引 当 金	36,146		36,258			42,045	
5 そ の 他	686,560		856,097			1,222,289	
流動負債合計	904,721	3.4	1,128,409	4.5	223,687	1,647,519	6.3
II 固定負債							
1 社 債	2,100,000		2,000,000			2,050,000	
2 繰延税金負債	6,054		—			15,725	
3 役員退職慰労引当金	50,480		59,150			60,540	
4 預り保証金	18,172,451		16,497,864			16,739,851	
固定負債合計	20,328,986	77.0	18,557,014	73.3	△ 1,771,971	18,866,116	72.3
負債合計	21,233,707	80.4	19,685,424	77.8	△ 1,548,283	20,513,635	78.6
(純資産の部)							
I 株主資本							
1 資 本 金	4,340,550	16.4	4,340,550	17.1	—	4,340,550	16.6
2 資 本 剰 余 金							
(1) 資 本 準 備 金	527,052		527,052			527,052	
資本剰余金合計	527,052	2.0	527,052	2.1	—	527,052	2.0
3 利 益 剰 余 金							
(1) 利 益 準 備 金	—		7,000			—	
(2) その他利益剰余金							
繰越利益剰余金	186,667		710,316			606,899	
利益剰余金合計	186,667	0.7	717,316	2.8	530,648	606,899	2.3
4 自 己 株 式	△ 8,679	△ 0.0	△ 11,292	△ 0.0	△ 2,613	△ 10,231	△ 0.0
株主資本合計	5,045,591	19.1	5,573,627	22.0	528,035	5,464,270	20.9
II 評価・換算差額等							
1 その他有価証券 評価差額金	118,261		56,885		△ 61,375	116,130	
評価・換算差額等合計	118,261	0.5	56,885	0.2	△ 61,375	116,130	0.5
純資産合計	5,163,852	19.6	5,630,512	22.2	466,659	5,580,400	21.4
負債純資産合計	26,397,560	100.0	25,315,936	100.0	△ 1,081,624	26,094,036	100.0

(2) 中間損益計算書

区 分	前中間会計期間 (自 平成18年10月 1日 至 平成19年 3月31日)		当中間会計期間 (自 平成19年10月 1日 至 平成20年 3月31日)		対前中間期比 増減(千円)	前事業年度の要約損益計算書 (自 平成18年10月 1日 至 平成19年 9月30日)	
	金額(千円)	百分比(%)	金額(千円)	百分比(%)		金額(千円)	百分比(%)
I 営業収益	2,562,762	100.0	2,534,631	100.0	△ 28,130	5,772,375	100.0
II 営業原価	2,122,462	82.8	2,170,508	85.6	48,046	4,581,154	79.4
営業総利益	440,300	17.2	364,122	14.4	△ 76,177	1,191,221	20.6
III 一般管理費	246,002	9.6	254,429	10.1	8,426	507,483	8.8
営業利益	194,297	7.6	109,693	4.3	△ 84,604	683,737	11.8
IV 営業外収益	66,407	2.6	167,181	6.6	100,773	313,502	5.4
V 営業外費用	36,477	1.4	37,915	1.5	1,437	88,482	1.5
経常利益	224,227	8.8	238,959	9.4	14,731	908,757	15.7
VI 特別利益	0	0.0	604	0.0	604	1,208	0.0
VII 特別損失	1,190	0.1	3,626	0.1	2,436	28,121	0.5
税引前中間(当期) 純利益	223,037	8.7	235,937	9.3	12,900	881,844	15.2
法人税、住民税及び 事業税	4,406	0.2	47,005	1.9	42,599	199,763	3.4
法人税等調整額	31,963	1.2	8,508	0.3	△ 23,454	75,181	1.3
中間(当期)純利益	186,667	7.3	180,423	7.1	△ 6,244	606,899	10.5

(注)記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

(3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自平成18年10月1日 至平成19年3月31日)

	株主資本					評価・換算 差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		自己株式		
		資本準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金				
平成18年9月30日 残高 (千円)	4,340,550	5,134,722	△ 4,607,669	△ 7,528	4,860,074	109,033	4,969,108
中間会計期間中の変動額							
資本準備金の減少 及び剰余金の処分		△ 4,607,669	4,607,669		-		-
中間純利益			186,667		186,667		186,667
自己株式の取得				△ 1,150	△ 1,150		△ 1,150
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動 額(純額)						9,227	9,227
中間会計期間中の変動額 合計 (千円)	-	△ 4,607,669	4,794,337	△ 1,150	185,517	9,227	194,744
平成19年3月31日 残高 (千円)	4,340,550	527,052	186,667	△ 8,679	5,045,591	118,261	5,163,852

当中間会計期間(自平成19年10月1日 至平成20年3月31日)

	株主資本					評価・換算 差額等	純資産合計		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		自己株式			株主資本 合計	
		資本準備金	利益準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金		利益剰余金 合計			
平成19年9月30日 残高 (千円)	4,340,550	527,052	-	606,899	606,899	△ 10,231	5,464,270	116,130	5,580,400
中間会計期間中の変動額									
利益準備金の積立			7,000	△ 7,000	-		-		-
剰余金の配当				△ 70,005	△ 70,005		△ 70,005		△ 70,005
中間純利益				180,423	180,423		180,423		180,423
自己株式の取得						△ 1,061	△ 1,061		△ 1,061
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動 額(純額)								△ 59,244	△ 59,244
中間会計期間中の変動額 合計 (千円)	-	-	7,000	103,417	110,417	△ 1,061	109,356	△ 59,244	50,111
平成20年3月31日 残高 (千円)	4,340,550	527,052	7,000	710,316	717,316	△ 11,292	5,573,627	56,885	5,630,512

前事業年度の株主資本等変動計算書(自平成18年10月1日 至平成19年9月30日)

	株主資本					評価・換算 差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		自己株式		
		資本準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金				
平成18年9月30日 残高 (千円)	4,340,550	5,134,722	△ 4,607,669	△ 7,528	4,860,074	109,033	4,969,108
事業年度中の変動額							
資本準備金の減少 及び剰余金の処分		△ 4,607,669	4,607,669		-		-
当期純利益			606,899		606,899		606,899
自己株式の取得				△ 2,703	△ 2,703		△ 2,703
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額)						7,096	7,096
事業年度中の変動額 合計 (千円)	-	△ 4,607,669	5,214,568	△ 2,703	604,196	7,096	611,292
平成19年9月30日 残高 (千円)	4,340,550	527,052	606,899	△ 10,231	5,464,270	116,130	5,580,400

(注)記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

(4)中間キャッシュ・フロー計算書

	前中間会計期間 (自平成18年10月1日 至平成19年3月31日)	当中間会計期間 (自平成19年10月1日 至平成20年3月31日)	対前中間期比	前事業年度の 要約キャッシュ・フロー計算書 (自平成18年10月1日 至平成19年9月30日)
区 分	金額(千円)	金額(千円)	増減(千円)	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
税引前中間(当期)純利益	223,037	235,937	12,899	881,844
減価償却費	263,153	191,248	△ 71,904	411,920
のれん償却額	—	59,896	59,896	119,287
受取利息及び受取配当金	△ 7,497	△ 9,384	△ 1,887	△ 25,239
会員権消却益	△ 46,332	△ 137,835	△ 91,502	△ 261,820
社債利息	14,497	14,007	△ 490	28,750
有形固定資産除売却損	1,190	3,626	2,436	2,214
売上債権の増減額(増加:△)	121,613	4,945	△ 116,667	78,771
たな卸資産の増減額(増加:△)	7,831	△ 3,247	△ 11,079	△ 378
仕入債務の増減額(減少:△)	△ 9,211	△ 1,189	8,022	3,549
その他の	50,518	△ 35,790	△ 86,309	171,780
小計	618,801	322,216	△ 296,585	1,410,679
利息及び配当金の受取額	7,227	9,968	2,740	23,901
利息の支払額	△ 14,510	△ 14,020	490	△ 28,775
砕石工場原状回復費用の支払額	△ 46,594	—	46,594	△ 46,594
法人税等の支払額	△ 13,026	△ 195,948	△ 182,921	△ 49,168
営業活動によるキャッシュ・フロー	551,898	122,216	△ 429,681	1,310,042
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
定期預金の預入による支出	—	△ 500,000	△ 500,000	△ 500,000
定期預金の払戻による収入	—	500,000	500,000	—
有形固定資産の取得による支出	△ 92,060	△ 115,854	△ 23,794	△ 180,486
有形固定資産の売却による収入	47,513	8,615	△ 38,898	61,887
無形固定資産の取得による支出	△ 28,413	△ 12,105	16,307	△ 29,168
投資有価証券の取得による支出	△ 18,200	△ 3,000	15,200	△ 21,200
その他の	△ 19,992	17,154	37,146	△ 13,965
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 111,152	△ 105,191	5,961	△ 682,933
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
社債の償還による支出	△ 50,000	△ 50,000	—	△ 100,000
入会預り保証金の返還による支出	△ 91,867	△ 393,164	△ 301,297	△ 761,979
配当金の支払額	—	△ 69,268	△ 69,268	—
その他の	△ 1,150	△ 1,061	89	△ 2,703
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 143,018	△ 513,494	△ 370,476	△ 864,682
<b>IV 現金及び現金同等物の増加額又は減少額(△)</b>	297,727	△ 496,468	△ 794,196	△ 237,572
<b>V 現金及び現金同等物の期首残高</b>	3,419,191	3,181,618	△ 237,572	3,419,191
<b>VI 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高</b>	3,716,918	2,685,149	△ 1,031,769	3,181,618

(注)記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## 中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項

最近の半期報告書(平成19年6月18日提出)における記載から重要な変更がないため開示を省略します。

## 表示方法の変更

### (中間キャッシュ・フロー計算書)

のれん償却額は、前中間会計期間まで営業活動によるキャッシュ・フローの「減価償却費」に含めておりましたが、当中間会計期間から「のれん償却額」として表示しております。

なお、前中間会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローの「減価償却費」に含まれているのれん償却額は59,390千円であります。

注記事項

(中間貸借対照表関係)

	前中間会計期間末 (平成 19 年 3 月 31 日)	当中間会計期間末 (平成 20 年 3 月 31 日)	前事業年度末 (平成 19 年 9 月 30 日)
1. 現金及び預金	現金及び預金のうち保険会社勘定に見合うもの 298,576 千円は、当社が損害保険代理店として、保険契約者より領収した損害保険料を損害保険会社に納付するまでの一時預り金であり、資金使途が制限されており専用口座に別途保管しております。	現金及び預金のうち保険会社勘定に見合うもの 255,036 千円は、当社が損害保険代理店として、保険契約者より領収した損害保険料を損害保険会社に納付するまでの一時預り金であり、資金使途が制限されており専用口座に別途保管しております。	現金及び預金のうち保険会社勘定に見合うもの 281,222 千円は、当社が損害保険代理店として、保険契約者より領収した損害保険料を損害保険会社に納付するまでの一時預り金であり、資金使途が制限されており専用口座に別途保管しております。
2. 有形固定資産の減価償却累計額	12,321,635 千円	12,646,084 千円	12,525,236 千円
3. 担保資産	無担保社債の保証委託に対して担保に供している資産は次のとおりであります。  建 物 520,328 千円 構築物 357 千円 土 地 2,084,780 千円 その他有形固定資産 10,939 千円 合 計 2,616,405 千円	無担保社債の保証委託に対して担保に供している資産は次のとおりであります。  建 物 480,436 千円 構築物 293 千円 土 地 2,084,780 千円 その他有形固定資産 9,830 千円 合 計 2,575,340 千円	無担保社債の保証委託に対して担保に供している資産は次のとおりであります。  建 物 504,261 千円 構築物 320 千円 土 地 2,084,780 千円 その他有形固定資産 9,613 千円 合 計 2,598,975 千円
4. 預り保証金	ハワイカントリー倶楽部入会預り保証金は一部を返還するとともに返還期限の延長を進めた結果、当中間期末の預り保証金残高は 9,518,800 千円となりました。このうち一部返還予定額の残高 39,800 千円を流動負債として表示しております。 西那須野カントリー倶楽部入会預り保証金(返還据置期間は平成 20 年 5 月まで)は 7,779,200 千円であります。	ハワイカントリー倶楽部入会預り保証金は一部を返還するとともに返還期限の延長を進めた結果、当中間期末の預り保証金残高は 8,997,000 千円となり、このうち一部返還予定額の残高 20,000 千円を流動負債として表示しております。 西那須野カントリー倶楽部入会預り保証金(返還据置期間は平成 20 年 5 月まで)についても一部返還と返還期限の延長を進めた結果、当中間期末の入会預り保証金残高は 6,884,400 千円となり、このうち一部返還予定額の残高 231,800 千円を流動負債として表示しております。	ハワイカントリー倶楽部入会預り保証金は一部を返還するとともに返還期限の延長を進めた結果、当期末の入会預り保証金残高は 9,172,000 千円となり、このうち一部返還予定額の残高 24,000 千円を流動負債として表示しております。 西那須野カントリー倶楽部入会預り保証金(返還据置期間は平成 20 年 5 月まで)についても一部返還と返還期限の延長を進めた結果、当期末の入会預り保証金残高は 7,240,400 千円となり、このうち一部返還予定額の残高 562,800 千円を流動負債として表示しております。
5. 休日満期手形	中間期末日が満期手形の会計処理は、手形交換日をもって決済処理しております。 なお、当中間期末日が金融機関の休日であったため、次の中間期末日満期手形が期末残高に含まれております。  受取手形 800 千円	—	—

(中間損益計算書関係)

前中間会計期間 (自 平成 18 年 10 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)	当中間会計期間 (自 平成 19 年 10 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日)	前事業年度 (自 平成 18 年 10 月 1 日 至 平成 19 年 9 月 30 日)
1. 主要な営業外収益 会 員 権 消 却 益 46,332 千円	1. 主要な営業外収益 会 員 権 消 却 益 137,835 千円	1. 主要な営業外収益 会 員 権 消 却 益 261,820 千円
2. 主要な営業外費用 社 債 利 息 14,497 千円 社 債 発 行 費 償 却 8,436 千円 ゴルフ関連調査研究費 3,048 千円	2. 主要な営業外費用 社 債 利 息 14,007 千円 ゴルフ関連調査研究費 2,257 千円	2. 主要な営業外費用 社 債 利 息 28,750 千円 社 債 発 行 費 償 却 16,873 千円 ゴルフ関連調査研究費 8,638 千円
3. 減価償却実施額 有 形 固 定 資 産 199,656 千円 無 形 固 定 資 産 63,496 千円	3. 減価償却実施額 有 形 固 定 資 産 186,554 千円 無 形 固 定 資 産 64,591 千円	3. 減価償却実施額 有 形 固 定 資 産 403,835 千円 無 形 固 定 資 産 127,372 千円

(中間株主資本等変動計算書関係)

前中間会計期間 (自 平成 18 年 10 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	前事業年度末株式数 (株)	当中間会計期間増加 株式数 (株)	当中間会計期間減少 株式数 (株)	当中間会計期間末株 式数 (株)
発行済株式				
普通株式	14,040,000	—	—	14,040,000
合計	14,040,000	—	—	14,040,000
自己株式				
普通株式	31,469	3,190	—	34,659
合計	31,469	3,190	—	34,659

(注) 普通株式の自己株式の株式数の増加 3,190 株は、単元未満株式の買取りによる増加であります。

当中間会計期間 (自 平成 19 年 10 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	前事業年度末株式数 (株)	当中間会計期間増加 株式数 (株)	当中間会計期間減少 株式数 (株)	当中間会計期間末株 式数 (株)
発行済株式				
普通株式	14,040,000	—	—	14,040,000
合計	14,040,000	—	—	14,040,000
自己株式				
普通株式	38,847	3,580	—	42,427
合計	38,847	3,580	—	42,427

(注) 普通株式の自己株式の株式数の増加 3,580 株は、単元未満株式の買取りによる増加であります。

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額	配当の原資	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日
平成 19 年 12 月 21 日 定時株主総会	普通株式	70,005 千円	利益剰余金	5 円	平成 19 年 9 月 30 日	平成 19 年 12 月 25 日

前事業年度 (自 平成 18 年 10 月 1 日 至 平成 19 年 9 月 30 日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	前事業年度末株式数 (株)	当事業年度増加株式 数 (株)	当事業年度減少株式 数 (株)	当事業年度末株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	14,040,000	—	—	14,040,000
合計	14,040,000	—	—	14,040,000
自己株式				
普通株式	31,469	7,378	—	38,847
合計	31,469	7,378	—	38,847

(注) 普通株式の自己株式の株式数の増加 7,378 株は、単元未満株式の買取りによる増加であります。

2. 配当に関する事項

(1) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生が翌期となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額	配当の原資	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日
平成 19 年 12 月 21 日 定時株主総会	普通株式	70,005 千円	利益剰余金	5 円	平成 19 年 9 月 30 日	平成 19 年 12 月 25 日

(中間キャッシュ・フロー計算書関係)

前中間会計期間 (自 平成 18 年 10 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)	当中間会計期間 (自 平成 19 年 10 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日)	前事業年度 (自 平成 18 年 10 月 1 日 至 平成 19 年 9 月 30 日)
現金及び現金同等物の中間期末残高と中間貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金勘定 4,015,495 千円 保険会社勘定に見合う 現金及び預金 <u>△298,576 千円</u> 現金及び現金同等物 <u>3,716,918 千円</u>	現金及び現金同等物の中間期末残高と中間貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金勘定 3,440,186 千円 保険会社勘定に見合う 現金及び預金 <u>△255,036 千円</u> 預入期間が 3 ヶ月を 超える定期預金 <u>△500,000 千円</u> 現金及び現金同等物 <u>2,685,149 千円</u>	現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金勘定 3,962,840 千円 保険会社勘定に見合う 現金及び預金 <u>△281,222 千円</u> 預入期間が 3 ヶ月を 超える定期預金 <u>△500,000 千円</u> 現金及び現金同等物 <u>3,181,618 千円</u>

## リース取引

リース取引に関する注記事項については、中間決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略します。

## 有価証券

(前中間会計期間) (平成 19 年 3 月 31 日現在)

1. その他有価証券で時価のあるもの

(単位：千円)

区分	取得原価	中間貸借対照表計上額	差額
株 式	147,527	323,295	175,767
その他	89,530	112,521	22,990
合 計	237,058	435,816	198,758

2. 時価評価されていない有価証券

(単位：千円)

区分	中間貸借対照表計上額
その他有価証券	
非上場株式	523,516
投資事業有限責任組合への出資	5,760
合 計	529,277

(当中間会計期間) (平成 20 年 3 月 31 日現在)

1. その他有価証券で時価のあるもの

(単位：千円)

区分	取得原価	中間貸借対照表計上額	差額
株 式	141,389	239,312	97,922
その他	89,530	87,213	△2,317
合 計	230,920	326,525	95,605

2. 時価評価されていない有価証券

(単位：千円)

区分	中間貸借対照表計上額
その他有価証券	
非上場株式	510,295
投資事業有限責任組合への出資	4,155
合 計	514,450

(前事業年度末) (平成 19 年 9 月 30 日現在)

1. その他有価証券で時価のあるもの

(単位：千円)

区分	取得原価	貸借対照表計上額	差額
株 式	138,105	315,077	176,972
その他	89,530	107,734	18,203
合 計	227,635	422,812	195,176

2. 時価評価されていない有価証券

(単位：千円)

区分	貸借対照表計上額
その他有価証券	
非上場株式	510,295
投資事業有限責任組合への出資	4,801
合 計	515,096

## デリバティブ取引

前中間会計期間 (自平成 18 年 10 月 1 日 至平成 19 年 3 月 31 日)

デリバティブ取引を全く利用しておりませんので該当事項はありません。

当中間会計期間 (自平成 19 年 10 月 1 日 至平成 20 年 3 月 31 日)

デリバティブ取引を全く利用しておりませんので該当事項はありません。

前事業年度 (自平成 18 年 10 月 1 日 至平成 19 年 9 月 30 日)

デリバティブ取引を全く利用しておりませんので該当事項はありません。

## 持分法投資損益等

前中間会計期間 (自平成 18 年 10 月 1 日 至平成 19 年 3 月 31 日)

当社には関連会社がないため該当事項はありません。

当中間会計期間 (自平成 19 年 10 月 1 日 至平成 20 年 3 月 31 日)

当社には関連会社がないため該当事項はありません。

前事業年度 (自平成 18 年 10 月 1 日 至平成 19 年 9 月 30 日)

当社には関連会社がないため該当事項はありません。

## ストック・オプション等

該当事項はありません。

## 企業結合等

該当事項はありません。

## 1 株当たり情報

項目	前中間会計期間 (自 平成18年10月 1日 至 平成19年 3月31日)	当中間会計期間 (自 平成19年10月 1日 至 平成20年 3月31日)	前事業年度 (自 平成18年10月 1日 至 平成19年 9月30日)
1株当たり純資産額	368円71銭	402円25銭	398円57銭
1株当たり中間(当期)純利益	13円33銭	12円89銭	43円33銭
	なお、潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。	同左	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

(注) 1株当たり中間(当期)純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前中間会計期間 (自 平成18年10月 1日 至 平成19年 3月31日)	当中間会計期間 (自 平成19年10月 1日 至 平成20年 3月31日)	前事業年度 (自 平成18年10月 1日 至 平成19年 9月30日)
中間(当期)純利益(千円)	186,667	180,423	606,899
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—	—
普通株式に係る中間(当期)純利益(千円)	186,667	180,423	606,899
期中平均株式数(株)	14,007,038	13,999,903	14,005,210

## 重要な後発事象

該当事項はありません。